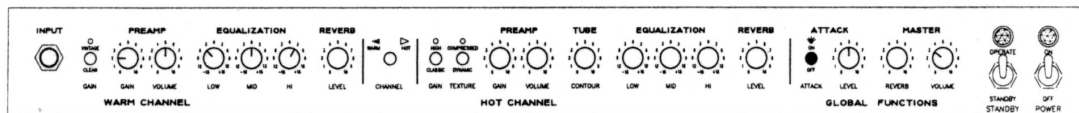


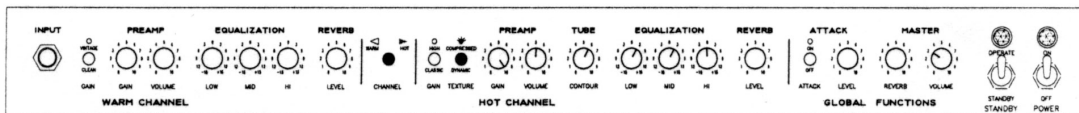
サンプルセッティング

ゲンツベンツの専門スタッフが作った即戦力のセッティング例です。EL DIABLO 100の実力をお試しいただくとともに、サウンドメイクの参考にしてください。



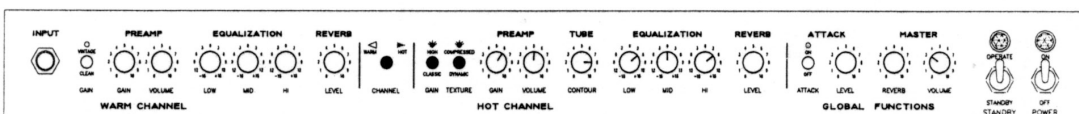
FULLERTON, CALIFORNIA SPANK AND SPARKLE

Turn this into a great "Chicago Blues" setting by adding a touch of reverb.



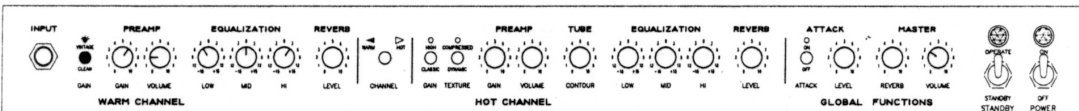
"BLACK MAGIC WOMAN"!

Warm & vocal solo tone.



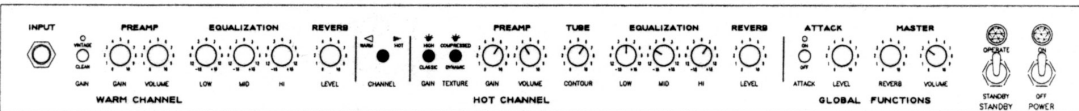
UNIQUELY GENZ BENZ

Modern rock tone suitable for any stage.



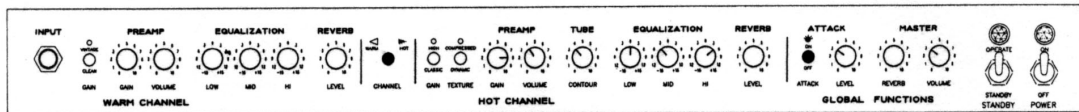
BLACK FACE WARMTH AND SHIMMER "BLUES SOLO"

Setting is very touch-sensitive. Dig in for a nice break-up.



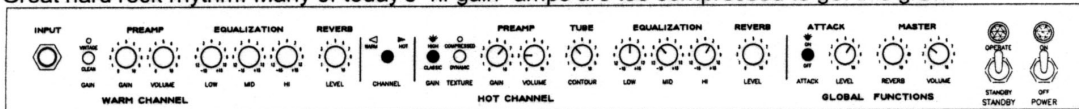
CLASSIC EDDIE "BROWN" SOUND

Need we say more?



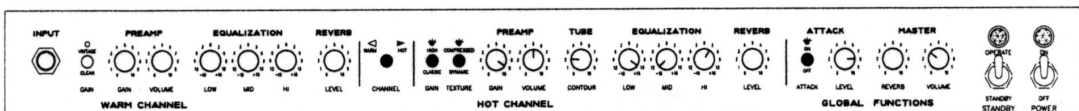
80's BRITISH STACK – BARK AND GRIND

Great hard rock rhythm! Many of today's "hi-gain" amps are too compressed to get this growl.



LATE 60's BRITISH STACK ON STEROIDS

This is it! The sound that others tried for, only to end up with a squashed sound that wasn't dynamic and wouldn't cut through the mix. Hotter than the EDDIE "brown sound"!



DROPPED TUNING NU-METAL

If this is too much gain, then you're too old!

GENZ•BENZ
ENCLOSURES

"WORLD CLASS" 100W TUBE AMPLIFIER
EL DIABLO 100

OWNER'S MANUAL

IDE corporation



EL DIABLO 100 with GB 412G-FLEX

ゲンツベンツ EL DIABLO 100 をお選びいただき、まことにありがとうございます。このチューブアンプは、「究極のトーン」を探求するあなたの即戦力となるに違いありません。EL DIABLO の多彩な機能は、あなたのプレイを際立たせます。我々はこの「ワールドクラス」アンプを最高の品質で製作しています。ぜひこの取扱説明書に目を通していただき、数々の機能とデザインをご理解ください。我々はあなたの選択を誇りに思います。そしてあなたが求めるものを手に入れることを願っています。

ジェフ・ゲンツラー(ゲンツベンツ創設者/技術者/プレイヤー)

使用上の注意

チューブアンプは熱を発生します。背後・頭上に最低でも10CMの間隔をとって設置してください。また各部の通風口をふさがないようにしてください。

霧・雨・水しぶき・ドリンク類などは避けてください。

アース線はかならず接地させてください。コンセントのピンを折らないでください。

背面の電圧セレクターは115Vに設定してください。

このアンプは非常に大音量を発生します。聴覚へのダメージには十分ご注意ください。

内部にユーザーが修理できる箇所はありません。必ず指定業者のサービスを受けて下さい

真空管の交換時は、すべての配線を外してください。

アンプの移動は、真空管が十分冷えてからにしてください(数分間)。ダメージを避け、真空管の寿命を守るためです。
なお、真空管は消耗品ですので、保証対象外となります。

ご使用の前に

100V電源でお使い下さい。

EL DIABLOは日本向けに100V仕様になっています。115Vのステップアップトランス等を使用すると、故障または破損する危険があります。

キャビネットスピーカーと接続してから電源を入れて下さい！

保護回路が内蔵されていますが、回路にダメージを与える場合があります。

「スタンバイ」状態で電源を入れ、最低30秒はウォームアップしてください

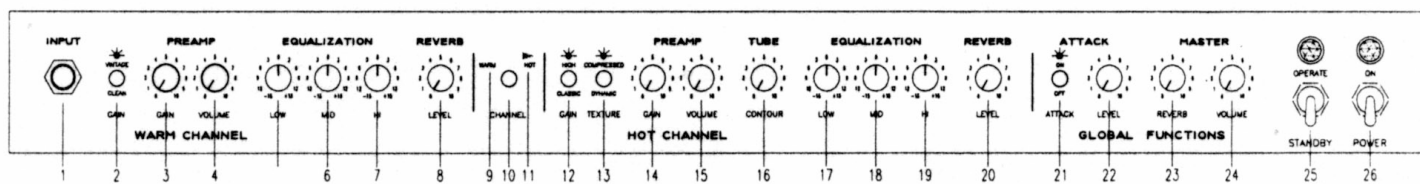
フットスイッチ接続時は、本体側のスイッチを「OUT」にしてください。

本体側スイッチが「IN」の時、フットスイッチで切替できません。



※付属の電源ケーブルは、本機専用です。

前面パネル



インプット(1)

1/4"フォーン(2P/アンバランス、ハインピーダンス)

WARM チャンネル(2~8)

WARM チャンネルは、レンジが広く暖かみのあるクリーンなトーンが得られます。さらにVINTAGE モードでは、張りのある中高域と豊かな低域とロングサステーンが得られます。

ゲインコントロール(3)を右に回すほど、サステーンのあるトーンになります。イコライザーセクション(5~7)は、3バンドで±15dBものカット/ブーストが可能です。各バンドはEL DIABLOに最適な帯域に設定されています。素早く良い音を得ることが出来ます。

リバーブ(8)はリバーブ部へのセンド量を調整します。EL DIABLOには、「アキュトロニクス社のスプリングリバーブ」が内蔵されています。GLOBAL SECTIONのリバーブ(23)と組み合わせることで幅広いリバーブセッティングが可能です。
<暖かいアナログリバーブ>リバーブ(8)を最大にし、GLOBAL SECTIONのリバーブ(23)を低めにセッティングします。他にもいろいろと試してみてください。

チャンネルセレクター/インジケータ(9~11)

点灯している方が、現在のチャンネルになります。

HOT チャンネル(12~20)

HOT チャンネルは、クラシックチューブアンプの豊かなトーン(CLASSICモード)から、太いハイゲインな歪み(HI GAINモード)まで、幅広いトーンを得ることができます。それでいてトーンが暴れたりぐちゃぐちゃになってしまうことがありません！

テクスチャー(13)トーンバリエーションに効果的です。COMPRESSED モードでは、タイトでパンチのある低域と勢いのあるトーンが得られます。

ゲインコントロール(14)を右に回すほど、歪んだトーンになります。ちょっと試していただければわかると思いますが、ゲインを最大にした場合でも、危険な状態にならないでしょう？EL DIABLOは、ゲインを上げてても扱いにくくならないことがありません！(他のアンプではこうはいきません)

チューブ・コントゥアー(16)はEL DIABLO の特徴的な機能です。独自の「トーン補正」です。センターより左側では、コシのある中域とビンテージ感のあるトーンになります。センターより右側では、高域と低域が強調されたモダンなトーンになります。

イコライザーセクション(17~19)は、3バンドで±15dBものカット/ブーストが可能です。各バンドはEL DIABLOに最適な帯域に設定されています。素早く良い音を得ることが出来ます。

リバーブ(20)はリバーブ部へのセンド量を調整します。EL DIABLOには、「アキュトロニクス社のスプリングリバーブ」が内蔵されています。GLOBAL SECTIONのリバーブ(23)と組み合わせることで幅広いリバーブセッティングが可能です。
<暖かいアナログリバーブ>リバーブ(8)を最大にし、GLOBAL SECTIONのリバーブ(23)を低めにセッティングします。他にもいろいろと試してみてください。

GLOBAL SECTION(21~26)

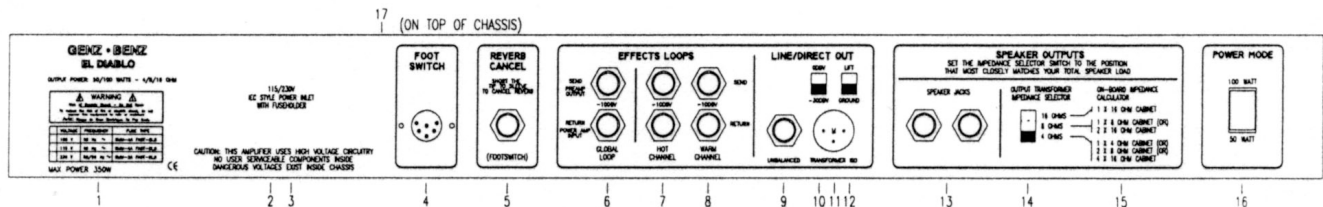
グローバル・アタック(21,22)は中高域を効果的にブーストします。ピックのアタックやバイトを強調します。リードプレイ時のブーストなどに適しています。レベル(22)を右に回すほど強調されます。

グローバル・リバーブ(23)は全体のリバーブ量(リターン)を調整します。

グローバル・ボリューム(24)は全体の音量を調整します。つまみの位置が10時~3時の間になるようにするのがベストです。もし10時以下になるような場合は、背面の「パワーモード」スイッチを50Wにするなどの工夫もおこなってみてください。

スタンバイスイッチ(25)は電源投入時の真空管のトラブルを防ぎます。まずスタンバイモードでパワースイッチをONにし、最低30秒たってからオペレートモードに切り替えて下さい(スタンバイモードの時は音は出ません)

背面パネル



EL DIABLO は真の「ワールドクラス」アンプとして設計されています。

ただし、海外での使用には各国の電圧に応じた、正しいヒューズと電源設定が必要となります。さらに日本仕様は100V向けに配線されています。海外等での使用に際しては、指定業者の正しいテクニカルサービスにご相談ください。

フットスイッチ・インプット(4)には付属の5ボタンフットスイッチを接続します。

※注意:本体側のスイッチが「OUT」になっていないと、フットスイッチは作動しません！リバーブキャンセル(5)市販のフットスイッチを接続して、内蔵リバーブのON/OFFが可能です。

グローバルエフェクトループ(6)はWARM・HOTにかかわらず作動します。＜センドのみ＞外部アンプへの入力などに使えます。＜センド・リターン＞コンプレッサーやデジタルプロセッサーなどを接続します。＜リターンのみ＞外部プリアンプからの信号などを入力することができます。

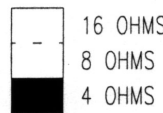
エフェクトループ WARM(7)HOT(8)はそれぞれのチャンネルで作動します。

LINE OUTPUT(9)は1/4フォーン(アンバランス)、DIRECT OUTPUT(10)はXLRキャノン(2番HOT)。信号レベルは0dBu(ラインレベル)と-30dBu(マイクレベル)の切替が可能です。この切替は接続機器により異なりますので、ご注意ください。グランドリフトスイッチ(11)は、グランドループによるハムノイズが発生した場合に切り替えてください。

スピーカーアウトプット(11)はスピーカーケーブルでキャビネットと接続します。その際、キャビネットのインピーダンスにあわせてインピーダンスセクター(12)を切り替えて下さい。複数のキャビネットを接続している場合は、トータルのインピーダンスに合わせます。インピーダンスは、キャビネットのバックパネルや取扱説明書に記載されています。

注意:EL DIABLOの電源を入れる時には、かならずキャビネットを接続してください。なにも接続せずに電源を入れた場合、保護回路はありますが、回路に大きなダメージを与えることがあります。

OUTPUT TRANSFORMER IMPEDANCE SELECTOR



ON-BOARD IMPEDANCE CALCULATOR

- 1 X 16 OHM CABINET
- 1 X 8 OHM CABINET (OR) 2 X 16 OHM CABINET
- 1 X 4 OHM CABINET (OR) 2 X 8 OHM CABINET (OR) 4 X 16 OHM CABINET

パワーモード(16)100Wと50Wの切替ができます。50W時は2個のパワー管を取り外した状態と同じです。アンプ自体のトーンキャラクターが変わります(低い音量でも真空管の歪みが得られます)音作りにも積極的に活用してみてください。

チューブBIAS(17)は内部にあります。EL DIABLOはマッチドセレクトされた4本のRuby Tubes製EL34が装備されています。倍音成分の豊かさから我々はEL34をベストと判断しましたが、もしもっと大きなヘッドルームや低域のレスポンスが必要な場合は6L6や5881を取り付けることもできます。その場合、BIASを6L6に切り替えてください。交換には背面パネルを取り外す必要があります。

注意:真空管の交換および交換によるトラブルは保証対象外となります。別項の「真空管の交換について」をかならずご覧になってください。

真空管の交換について

注意)アンプの内部には高圧電流が流れており、内部へのアクセスは危険を伴う場合があります。十分に気をつけておこなってください。それによって生じた故障・破損およびトラブルに対しては一切保証いたしません。不安な場合は購入店にご相談ください。

まず、電源スイッチをオフにし、電源コードを外してください。バックパネルを取り外してください。

パワーチューブの交換

真空管が十分に冷えていることを確認して下さい。真空管の留め具(銀色)を押し下げ、静かにゆっくりと真空管を引き抜いてください。真空管を取り付けるには、ピンの位置に気をつけてしっかりと差し込んでください。最後に、BIASスイッチを設定してください。

プリチューブの交換

真空管が十分に冷えていることを確認して下さい。真空管の留め具は、しっかりとネジ止めされています(音質上の理由からです)精密プラスドライバーで留め具を外します。真空管を静かにゆっくりと引き抜きます。真空管を取り付けるには、ピンの位置に気をつけてしっかりと差し込んでください。元通りに留め具を取り付けます。

出力チューブBIASについて

EL DIABLO 100は、BIASの設定・コンディションに関して敏感すぎないように設計されています。ゲンツペンツの優秀なチューブ技術者によって設定された出荷時のBIAS設定は、市販の真空管のほとんどにマッチします。特に設定を調整・変更する必要はありません。

トラブルシューティング

音が出ない

- ・各チャンネルの「GAIN」「VOLUME」を確認してください。「GLOBAL SECTION」の「VOLUME」も確認して下さい。
- ・「STANDBY」スイッチが「OPERATE」になっているかどうか確認して下さい。
- ・電源投入直後は音が出ません。真空管のウォームアップに30秒程度かかります。
- ・キャビネットとの接続・インピーダンスセクターを確認して下さい。
- ・上面・背面の通風口をふさいでいないか確認してください。

音が小さい

- ・背面のパワーモードスイッチを確認してください。

電源がはいらない

- ・電源ケーブル・ポルテージセクターを確認してください。
- ・ヒューズがとんでいる可能性があります。ヒューズを交換してください(指定定格のものを使って下さい)ひんぱんにヒューズがとぶ場合、販売店にご相談ください。

フットスイッチが点灯しない

- ・本体側の各スイッチを「OUT」状態にして、フットスイッチを何回か押してください。

ライン/ダイレクトアウトにノイズがのる/音が出ない

- ・グランドリフトスイッチを切り替えてください。
- ・XLR端子は「2番HOT」です。



主要諸元

出荷時の真空管

- 3 12AX7AC4 プリアンプ(Ruby Tubes)
- 4 EL 34 パワーチューブ(Ruby Tubes)

定格出力

- 4 x EL 34 :100W
- 4 x 6L6 :95W

消費電力

350W以下

ヒューズ

メインパワーヒューズ:4A Fast Blo(100V、115V) 2A Fast Blo(230V)
パワーチューブヒーターヒューズ:5A Slo Blo

外形

H273 W711 D280 mm 23.6kg